

謝辞

この展示は、2007年春からU-CoRoプロジェクトにさまざまな形で協力くださったみなさまのうち、52名の方々にアンケートを通してご提供いただいたかけがえのない情報によって実現しているものです。ご協力くださったみなさまに、心からお礼申し上げます。

アンケートのご回答者

(数字は中面の「読みたい本と読みたい場所マップ」に対応しています)

①岡本真澄さん、②澤井浩一さん、③吉見孝信さん、④田村 彩さん、⑤小谷真功さん、⑥桑原年弘さん、⑦竹村伍郎さん、⑧元山裕康さん、⑨S.Y.さん、⑩鈴木伸廣さん、⑪藤原沙樹さん、⑫オダギリサトシさん、⑬山内美陽子さん、⑭上田假奈代さん、⑮田中雅人さん、⑯山瀬真太郎さん親子、⑰岸本智嘉子さん、⑱馬庭 達さん、⑲小辻昌平さん、⑳長谷川寧子さん、㉑塩田洋子さん、㉒菅 磨志保さん、㉓酒向八智代さん、㉔岡本泰子さん、㉕北川 央さん、㉖関川華さん、㉗岡田孝輔さん、㉘徳力修司さん、㉙六波羅雅一さん、㉚奥野素子さん、㉛白石喜啓さん、㉜渡辺尚見さん、㉝T.Y.さん、㉞山田将太郎さん、㉟秋田光彦さん、㊱角田昭弘さん、㊲木村 薫さん、㊳宮崎昌久さん、㊴酒井一光さん、㊵小田由布子さん、㊶中村文隆さん、㊷山口洋典さん、㊸森 茂樹さん、㊹中越慈子さん、㊺坂本峰徳さん、㊻富士原純一さん、㊼鄭 甲寿さん、㊽宋 悟さん、㊾山岡武明さん、㊿森下正博さん、㉑高見一利さん、㉒市川久雄さん

U-CoRo独案内 (ゆーころ・ひとりあんない) vol.07

NEXT21/U-CoRo ウィンドウ・エキジビション 07
「春の日 上町台地で読みたい本」(2009.1.26 ~ .5.22)
大阪市天王寺区清水谷町6-16 NEXT21 1階北U-CoRo

発行日 2009年1月26日

企画 U-CoRoプロジェクト・ワーキング

編集 橋本 護/早川厚志/弘本由香里 デザイン 小倉昌美/北浦千尋

発行 大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所(CEL)

大阪市中央区平野町4-1-2

印刷 (株)国際印刷出版研究所

この冊子、企画内容に関するお問合せ先 TEL:06-6205-3518(担当:CEL弘本)

※NEXT21の3階以上は住戸フロアとなっておりますので、立ち入りはご遠慮ください。

表紙写真:大阪城公園

独案内(ひとりあんない)=まちや物事に不案内な人を助ける携帯便利な冊子のこと
この冊子は環境に優しい再生紙を使用しています

ゆーころ・ひとりあんない

U-CoRo独案内

vol.07

NEXT21/U-CoRoウィンドウ・エキジビション 07

春の日 上町台地で読みたい本

2009.1.26 Mon — 5.22 Fri



ごあいさつ

本や書棚は人の心を映す鏡にたとえられることがあります。まちをいえに、同じ時代、ひとつの空の下、上町台地に生き会う人が、上町台地のお気に入りの場所で読みたい本を持ち寄って書棚をつくったとしたら、そこにはどんな風景が映しだされることでしょうか。U-CoRoプロジェクトを通して、多くの方々の日々の暮らしや生活史、上町台地の過去と現在の表情にふれるなかで、そんな思いを抱くようになりました。そこで、U-CoRoのウィンドウを書棚に見立て、50数名の方々のご協力を得て、(春の日に)上町台地で読みたい本とお気に入りの場所を寄せていただくこととなりました。

近未来の住まいと暮らしを探求する大阪ガス実験集合住宅NEXT21では、2007年春から1階に設けた「U-CoRo (ゆーころ)」のガラス・ウォールをインターフェイスに、上町台地のまつりや子どもと遊び、いのちをまもる智慧、減災につながるゲーム、緑と鳥や地域の伝統野菜をテーマにウィンドウ・ディスプレイを展開してまいりました。

第7弾となる今回の展示「春の日 上町台地で読みたい本」では、U-CoRoを介してご縁をいただいた50数名の方々が持ち寄った本と場所と暮らしの物語が交わり、生き生きと血の通う上町台地がその姿を現します。春の一日、それぞれの一冊を手に、上町台地のとっておきの場所を見つけていただけましたら幸いです。

主催：大阪ガス エネルギー・文化研究所 (CEL)
企画：U-CoRo プロジェクト・ワーキング



※ U-CoRo (ゆーころ)とは、NEXT21の1階「上町台地コミュニケーション・ルーム」の愛称です。
この窓をインターフェイスに、上町台地の時空につながり、出会いを紡ぎ、暮らしを育む取り組みを少しずつ重ねていくことができればと願っています。



大阪城公園

藤原沙樹さん
ゲストハウス&カフェバー由苑

読みたい
場所

「ムーミンのたからもの」
トーベ・ヤンソン
(講談社)

上町台地で
読みたい本 11

自分の宝物って何だろう。ムーミンはそれを探す旅に出る。でも旅の先々で見つける宝物は仲間の為のものばかり。

自分の宝物が見つからないと悲しむムーミンに母が言います。“あなたの宝物は皆のことを想えるそのころよ”と。

大阪城公園で、母が小さい私に聞かせてくれたたくさんの絵本達。

私もたくさんの子供達に同じ場所でこういう大切な物語を聞かせてあげたいな。

中央区大阪城

直木三十五記念館

豊の上で寝そべて
北川 央さん
大阪城天守閣研究副主幹

読みたい
場所

「黄門廻国記」
直木三十五
(春陽文庫)

上町台地で
読みたい本 25

推理小説が大好きな私が、小学5年のときに初めて買った文庫本が春陽文庫の「三角館の恐怖」(江戸川乱歩著)。ちょうどその頃歴史も好きになり、司馬遼太郎の作品などを読むようになりました。そんな春陽文庫と歴史(時代)小説の流れの結節点で出会ったのが「黄門廻国記」で、当時は著者の直木が大阪の人であることも、「直木賞」にその名を残す人であることも知らずに読みましたが、今度は直木ゆかりの空堀で、ゆっくりと“場”の雰囲気になりながら読んでみたいですね。

中央区谷町六丁目

難波宮

空がひろく、開放感がある、草のにおいがして、そこにいることが楽しい場所

上田假奈代さん
詩人

読みたい
場所

「みみをすます」
谷川俊太郎
(福音館書店)

上町台地で
読みたい本 14

黄色い装丁のこの詩集はひなたが似合う。草のにおい、そよぐ風にまじって、こどもの声や犬の鳴き声がある。出勤する人もいれば、家に帰る人、ただそこにいる人、いろんな人がいて、この時間が尊いと思えるから。そんなとき「みみをすます」。

中央区法円坂1丁目

上汐町公園

上の段のベンチが
すり鉢状の滑り台の上

中越慈子さん
夕陽丘ストリート界隈の住人

読みたい
場所

「海の日曜日」
今江祥智作 宇野亜喜良絵
(実業之白本社)

上町台地で
読みたい本 44

中学の頃、興味を持っていた宇野亜喜良さん挿絵の本を図書室で見つけ、手に取りました。それがこの本との出会い。そして著者の今江祥智さんの大阪弁口調の文体にのめり込んでしまいました。それがきっかけで児童文学や絵本に興味を持つようになった「始まりの本」というわけです。読書の場所は「海の日曜日」の感じにあったノスタルジックでのんびりしたところということで、古いままあまり変わっていない場所を選びました。この公園は、中学の頃のデート・コース、子育ての公園デビューの場でもあり、春は満開の桜の下で読書も楽しめます。

天王寺区上汐4丁目

春の日上町台地で読みたい本と読みたい場所マップ

52人が選びました。理由はU-CoRo展示パネルをご覧ください。

読みたい本 〇〇と読みたい場所 〇〇
 ※それぞれの推薦者は、同番号のアンケートご回答者(奥付上に記載)
 ●書店等 ●古書店・古本市
 ●ブックカフェ等
 ●ライブラリー・出版社・文学団体

上町台地一帯は、古くから歴史・文化に彩られたところ。そして、生き生きとした自然にも恵まれています。春の一日、あなたもお気に入りの一冊を手し、上町台地のとっておきの場所に出かけてみませんか。



- 1 「そっと耳を澄ませば」 三宮麻由子 (講談社文庫)
- 2 「一夜官女」 司馬遼太郎 (PHP文庫)
- 3 「十五少年漂流記」 ヴェルヌ (新潮文庫)
- 4 「大坂城公園駅」 (ある運命について) 0095 司馬遼太郎 (PHP文庫)
- 5 「村と古書」 村上春樹の本
- 6 「ムーミンのたからもの」 トーベヤンソン (講談社)
- 7 「15少年漂流記」 ヴェルヌ (新潮文庫)
- 8 「100万回生きたねこ」 佐野洋子 (講談社)
- 9 「ローマ人の物語」 徳野七生 (講談社)
- 10 「おぼろげな猫村さん」 1-3巻 ほしよこ (マガジック)
- 11 「瞬間の風になれ」 1-3巻 佐藤多佳子 (講談社)
- 12 「黄門漫遊記」 喜木三十五 (講談社)
- 13 「アルケミスト 夢を旅した少年」 ハウ・ユエーリ (講談社・角川)
- 14 「城塞」 司馬遼太郎 (講談社)
- 15 「不思議の国のアリス」 ルイス・キャロル (講談社文庫)
- 16 「つづり方兄妹」 喜上丹治・今井弓子 (講談社)
- 17 「おんな大坂府の歴史」 津田秀夫 (講談社)
- 18 「さいころのはちょうちょ」 五味太郎 (講談社)
- 19 「三国志」 古川英治 ほか
- 20 「海の日曜日」 今江祥智 宇野浩吉 ほか (講談社)
- 21 「日本文学は世界のかけ橋」 ドナルド・キーン (ちくま文庫)
- 22 「車輪の下」 ヘルマン・ヘッセ (講談社文庫)
- 23 「安吾新日本地理」 坂口安吾 (ちくま文庫)
- 24 「ふたつの故郷 津軽の空・星州の風」 村松道平 (講談社)
- 25 「伯林——1918年」 海渡英祐 (講談社)
- 26 「動物園にできること」 川島浩人 (文芸春秋)
- 27 「兄弟のやまばと」 (『小川未明童話集』より) 小川未明 (講談社)

- 3 「古代史の中の短歌たち: (小説) 吾田燦」 金谷順之 web上に掲載 <http://www.k4.dion.jp/~nick/firocabin.htm>
- 4 「ルピナスさん」 パー・ラクーニー (岩波文庫)
- 5 「真田太平記」 池田正太郎 (講談社)
- 6 「鳥が教えてくれた空」 三宮麻由子 (PHP文庫)
- 7 「森の少年」 M.ムス (講談社)
- 8 「みみをすます」 谷川俊太郎 (講談社)
- 9 「アースダイバー」 中沢新一 (講談社)
- 10 「月刊『大阪人』」 読大阪府都市工学情報センター
- 11 「大関記」 司馬遼太郎の本
- 12 「酒肴酒」 吉田隆一 (文芸春秋)
- 13 「20世紀少年」 (全2巻) 遠藤憲一 (小学館)
- 14 「はじめてのおつかい」 (こどもとも作集) 58 南井朝子・林明子 (講談社)
- 15 「大阪新・長屋暮らしのすずめ」 横川和彦 (講談社)
- 16 「大阪大阪」 歴史情報シリーズ「城と城下町」2 「大阪・大阪」 遠辺武彦 (小学館)
- 17 「大阪学」 「続・大阪学」 大谷晃一 (講談社)
- 18 「谷川俊太郎詩集 いまほくに(詩とこころ)」 谷川俊太郎 (講談社)
- 19 「犬と私の10の約束」 サイトウ・アキラ (講談社)
- 20 「日本の歴史」 3 徳川幕府の隆盛と衰退 (講談社)
- 21 「詩集『折り』」 山崎三貴 (講談社)
- 22 「放浪絵巻」 (ててはつらつ) 藤田洋三 (花房社)
- 23 「春琴抄」 谷崎潤一郎 (岩波文庫)
- 24 「やさしさの精神病理」 大平謙 (講談社)
- 25 「年画選」 昔のマンガ月刊雑誌
- 26 「兄弟のやまばと」 (『小川未明童話集』より) 小川未明 (講談社)

地図データ提供: 西代宮山クラブ

- 凡例
- 病院
 - 警察・交番
 - 郵便局
 - 駅
 - 学校